

教会はまだまだ居心地が良い所とは言えない。この場合の「教会」とは小教区などの人の集まりのことをいう。人の集まりだから、当然、そこにはさまざまな人がいるわけで、人間的な問題も山積している。好きな人、嫌いな人、合う人、合わない人。いろいろな人がいる。それは決して善し悪しの問題ではなく、一つの現実。そういうものだということ認識してないと、問題はより複雑になってしまつ▼同じ

## 地の塩

みことばを聞き、共に祈り、一つのパン（聖体の秘跡）を分けていただきたいのに、まだまだ教会は一つになっていない。もちろん、一つになるといことは、皆が同じ者になるといことではないのだが、まだ、向いている先、方向が一つ

になっていないというのが現実だと思う▼よく、一つになることを目的に掲げて何かの集まりや催し物をしたりする。一致を求めて何かの行事をしたりする。しかし、一つになること、そのものを目的に行動することはうまくいかない。人は何かをすることによって一つになっていく。そして、一つになるためには、互いの違いを認めなければならぬ。違ったまま、一つになるのである▼イエスの求めた教会は違っ

たまま一つである共同体ではなかったのか。違いを受け入れず、違いを正すことのみを求め続けた教会は、結果として争いを生んできた。教会は包み込まれて一つになる。包み込むのはキリスト。人が自分でまとめようとすれば、うまくいかない。まとめ、一つになる喜びを与えてくれるのはキリストである。キリストが分けてくださる一つのパンをいただく時、一つにしてもらえる。